

(専門基礎分野)

授業科目	薬理学	講師	薬剤師	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.薬理学の基礎知識を理解する。 2.健康障害に対する薬物療法の作用機序、人体への影響について理解する。				時間数
					30
					学 年
					1
					時 期
回数	主 題	学習内容		授業方法	講師
1 ～ 3	薬理学に関する基本事項 (薬理学総論)	1.薬理学の概念 2.投与経路、薬理作用 3.薬物に影響を及ぼす要因 4.薬の有害作用 5.薬物の取扱と保管方法 各種製剤と処方箋、保存方法 医薬品の安全対策 医薬品添付文書 6.医薬品等の安全な使用 混合の可否、禁忌		講義	薬剤師
4	薬物の臨床適応	1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用① 1) 免疫治療薬		講義	薬剤師
5		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用② 1) 抗がん薬		講義	薬剤師
6		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用③ 1) 抗感染症薬		講義	薬剤師
7		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用④ 1) 漢方薬、輸液製剤・輸血剤		講義	薬剤師
8		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑤ 1) 抗アレルギー薬・抗炎症薬		講義	薬剤師
9		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑥ 1) 末梢での神経活動作用する薬物		講義	薬剤師
10		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑦ 1) 皮膚科用薬・眼科用薬 2) 救急の際に使用される薬物		講義	薬剤師
11		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑧ 1) 心臓・血管系に作用する薬物		講義	薬剤師
12		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑨ 1) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物		講義	薬剤師
13		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑩ 1) 中枢神経系に作用する薬物		講義	薬剤師
14		1.主な治療薬・麻酔薬と薬理作用⑪ 1) 物質代謝に作用する薬物		講義	薬剤師
15	評価	筆記試験			
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進[2]薬理学		

